



萬福寺雪舟庭園

雪舟 *Sesshu Summit* ゆかりの5市

島根県 益田市

ご挨拶 「サミットに寄せて」

益田市長 山本 浩章



第二〇回雪舟サミットが、井原市で開催されますことを、心よりお祝い申し上げます。

「雪舟回廊のガーデンツアーリズム登録」から三年経ちました。国内やインバウンドなど人流が回復する中、庭園を中心とした雪舟の作品に出会うことのできる旅をテーマに、引き続き広く情報発信を行いながら、皆さんの愛する雪舟を通じて、各関係市町の交流がより一層深まり、連携の輪がさらに広がることを心より祈念しております。

市の紹介

益田市は、島根県西端に位置する人口約四万四千人のまちです。北は日本海に面し、南は中国山地の山々が連なり、その山々が源流になっている高津川は、日本で唯一ダムのない一級河川で、これまでに六度水質日本一にもなったことがあります。

「中世日本の傑作 益田を味わう―地方の時代に輝き再び―」として日本遺産に認定されている益田市は、本年四月一日、国の登録有形文化財「益田市立歴史民俗資料館」を改修し、展示機能に加え観光情報発信や交流活動の拠点を備えた多機能施設として、「益田市立歴史文化交流館」を開館いたしました。

十月二十八日～十一月二十七日には交流館の開館記念として、雪舟筆伝の国指定重要文化財「紙本著色益田兼堯像」を益田市立雪舟の郷記念館に於いて一般公開しております。

また、雪舟が作庭したとされ国指定史跡及び名勝である萬福寺庭園と医光寺庭園は、日本遺産の構成文化財であるとともに、雪舟回廊の構成庭園でもあります。

雪舟が生きた中世の時代を感じ取れる益田市へ、多くの皆さまのお越しをお待ちしています。

雪舟とのつながり

●重要文化財「益田兼堯像」(益田市立雪舟の郷記念館所蔵)

雪舟が活躍した時代にこの地域を治めていたのは領主・益田氏で、室町時代の当主・益田兼堯は雪舟を益田に招き萬福寺、崇観寺(現在の医光寺)で庭園を築かせ、また自身の肖像画も描かせました。雪舟の人物画は珍しく、雪舟と兼堯の親密な関係がうかがわれます。

●大喜庵

大喜庵は、晩年の雪舟が滞在し亡くなったとされる東光寺跡地に建てられたものです。

東光寺は、天正八年(一五八〇年)に焼失しましたが、雪舟ゆかりの地が荒廃していることに嘆いた益田市出身の僧侶が、元禄十五年(一七〇二年)に創建しました。隣接する墓地には、益田市指定文化財の伝雪舟墓が残されています。



医光寺雪舟庭園